

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【公表番号】特表 2010-528803 (P2010-528803A)
 【公表日】平成 22 年 8 月 26 日 (2010.8.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-034
 【出願番号】特願 2010-511782 (P2010-511782)
 【国際特許分類】

A 6 1 N 1/08 (2006.01)

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/08

A 6 1 N 5/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 10 日 (2011.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

個人の皮膚表面の下の組織容量を、0.5 秒を超える治療期間内に、初期温度から 40 乃至 60 の範囲内の治療温度まで加熱するためのシステムであって、

(a) アプリケータと、

(b) 第 1 電極と第 2 電極とを横切る、連続波 R F 電圧エネルギー又は準連続波 R F 電圧を、提供するように、構成されている、R F 発生器であって、少なくとも 1 つの電極がアプリケータに結合されている、R F 発生器と、

(c) 電気皮膚温度測定装置、又は、アプリケータ動作センサと、

(d) 皮膚温度又はアプリケータの移動速度を監視するように、構成されており、また、皮膚温度が予め定めた温度を超えたとき、又は、アプリケータの移動速度が予め定めた速度を下回ったとき、R F エネルギーをオフ又は少なくするように、構成されている、C P U と、

を備えていることを特徴とするシステム。

【請求項 2】

上記電気温度測定装置が、皮膚インピーダンスを測定するインピーダンス計を備えている、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

アプリケータ動作センサを備えている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

上記動作センサが、アプリケータ移動速度を測定する、請求項 3 記載のシステム。

【請求項 5】

上記アプリケータ動作センサが、加速度センサである、請求項 3 記載のシステム。

【請求項 6】

上記アプリケーション動作センサが、光学的装置である、
請求項 3 記載のシステム。

【請求項 7】

上記第 1、第 2 電極が、アプリケーションに結合されている、
請求項 1 記載のシステム。

【請求項 8】

上記 RF 電圧が、1 乃至 50 W の範囲内の出力を有している、
請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

上記 RF 電圧が、0.2 乃至 100 MHz の範囲内の周波数を有している、
請求項 1 記載のシステム。

【請求項 10】

上記アプリケーションが、光エネルギーを皮膚領域に向けてるように構成されている光源を、更に備えている、
請求項 1 記載のシステム。

【請求項 11】

上記光エネルギーの少なくとも一部分が、400 乃至 1800 nm の範囲内にある、
請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

上記光エネルギーが、0.01 乃至 10 W / cm² の範囲内のエネルギー出力密度を有している、
請求項 10 記載のシステム。

【請求項 13】

上記光源が、白熱電球と、ガス入り電球と、LED と、レーザと、の内から選択されている、
請求項 10 記載のシステム。

【請求項 14】

上記 CPU が、1 又はそれ以上のインピーダンス測定値に基づいて皮膚内の熱分布を決めるように構成されている、
請求項 2 記載のシステム。

【請求項 15】

処理装置が、皮膚温度が予め定めた温度を下回った場合に、目的にかなう信号を生じるように構成されている、
請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 16】

上記目的にかなう信号が、第 1 ピッチでアラームを鳴らすものである、
請求項 15 記載のシステム。

【請求項 17】

処理装置が、皮膚温度が予め定めた温度を超えた場合に、目的にかなう信号を生じるように構成されている、
請求項 1 記載のシステム。

【請求項 18】

上記目的にかなう信号が、第 2 ピッチでアラームを鳴らすもの、又は、認識できる信号である、
請求項 15 記載のシステム。

【請求項 19】

個人の皮膚表面の下組織容量を、0.5 秒を超える治療期間内に、初期温度から 40 乃至 60 の範囲内の治療温度まで加熱するための方法であって、

(a) 第 1 電極と第 2 電極とを横切る、連続波 RF 電圧エネルギー又は準連続波 RF 電圧を、提供する工程であって、少なくとも 1 つの電極がアプリケーションに結合されている、工

程と、

(b) アプリケータを皮膚表面上で移動する工程と、

(c) 皮膚温度又はアプリケータ動作を、監視する工程と、

(d) 皮膚温度が予め定めた温度を超えたとき、又は、アプリケータの移動速度が予め定めた速度を下回ったとき、自動的に、RFエネルギーを、オフし又は少なくする工程と、を備えていることを特徴とする方法。

【請求項20】

皮膚温度を監視する工程を備えている、

請求項19記載の方法。

【請求項21】

上記皮膚温度が、電氣的又は光学的装置を用いて監視される、

請求項20記載の方法。

【請求項22】

アプリケータ動作を監視する工程を備えている、

請求項19記載の方法。

【請求項23】

上記アプリケータ動作が、アプリケータを皮膚表面上で移動させたとき、皮膚表面上で回転するローラを用いて測定される、

請求項22記載の方法。

【請求項24】

上記アプリケータ動作が、アプリケータの加速度を測定することによって、測定される、

請求項22記載の方法。

【請求項25】

上記アプリケータ動作が、光学的装置を用いて測定される、

請求項22記載の方法。

【請求項26】

2又はそれ以上の電極が、アプリケータに結合されている、

請求項19記載の方法。

【請求項27】

上記RF電圧が、1乃至50Wの範囲内の出力を有している、

請求項19記載の方法。

【請求項28】

上記RF電圧が、0.2乃至50MHzの範囲内の周波数を有している、

請求項19記載の方法。

【請求項29】

光エネルギーを皮膚表面に向ける工程を、更に備えている、

請求項19記載の方法。

【請求項30】

光エネルギーの少なくとも一部分が、400乃至1800nmの範囲内のスペクトルを有している、

請求項29記載の方法。

【請求項31】

上記光エネルギーが、0.01乃至10W/cm²の範囲内のエネルギー出力密度を有している、

請求項29記載の方法。

【請求項32】

光源が、白熱電球と、ガス入り電球と、LEDと、レーザと、の内から選択されている、

請求項29記載の方法。

【請求項33】

1又はそれ以上のインピーダンス測定値に基づいて皮膚内の熱分布を決める工程を、更に

備えている、
請求項 20 記載の方法。

【請求項 34】

皮膚温度が予め定めた温度を下回った場合に、目的にかなう信号を生じさせる工程を、更に備えている、
請求項 20 記載の方法。

【請求項 35】

上記目的にかなう信号が、第 1 ピッチでアラームを鳴らすものである、
請求項 34 記載の方法。

【請求項 36】

皮膚温度が予め定めた温度を超えた場合に、目的にかなう信号を生じる工程を、更に備えている、
請求項 20 記載の方法。

【請求項 37】

上記目的にかなう信号が、第 2 ピッチでアラームを鳴らすもの、又は、認識できる信号である、
請求項 36 記載の方法。